

# ど の し た 淵

## 【大山祇神社祭り】

11月21日。今年も恙無く奉納することが出来ました。当番の3・4班をはじめご参加いただいた皆さんご苦労様でした。戸数も少なくなり班ごとの当番も往生するようになりました。運営について知恵を出し合う時期に来ていました。準備する本数を記録に残すためご協力よろしくお願いいたします。



5年度のテーマは『気づき・動き・紡ぐ』です。



住民サポート号

## 【自家用旅客運送 試験運行中】

さつま町が取り組んでいる地域公共交通の一つに乗り合いタクシーがありますが、土・日曜日は運行されていません。そこで持続的な住民の移動に供するため、「泊野・白男川エリア」において自家用旅客運送を2月まで試験運行しています。これは、地域住民が運転する車で、同じ方向に行きたい複数の方が乗り合って移動するものです。(土・日限定)

11月19日には、さつま町産業祭＆農業祭に行きました。ご利用の際は、配布のチラシを参考にお申込み下さい。(試験運行期間中無料) 私も運転します。

## 発行責任者

高峯公民会長  
三腰善行  
090-1089-9432  
令和5年12月4日発行



**たかんね寺小屋** 【西郷隆盛の人生訓】  
小説家董門冬一「西郷隆盛の人生訓」抜粋

◆あまり財政一辺倒に傾くと、国民は悪賢くなる

「よく、財政がひっ迫すと、必ずそういう面に才能を持つ人間を登用する。そして、理財に巧みな連中を能吏としていろいろ知を働かせる。つまり、民の方も悪賢くなるのだ。」

こうなると、単に、民が狡猾になるだけではなく、官と民とが不信感を持ち、ついには仇討になってしまいます。力がなくなつたらといって、ただ悪知恵がある小賢い人間を、能力のある者だとして登用するのも考えものだ」

..この言葉は、別に自治体だけに限ったものではあるまい。財政逼迫に陥った企業で姑息な手段を駆使して、単にバランスシートの貸方・借方の赤字を消せばいいというような経営方法のみに重点を置くと、社員全体が委縮してしまって、いい企画も出なくなるし、結局は、客の信頼も失つてしまつとうことになるだろう。

## 【マウンテン&グラウンドゴルフ開催】

12月3日は、行事でんご盛りの1日になりました。8時からは504号線通行止めの為、紫尾山清掃に代わる清掃作業。10時からはさきりり公園でマウンテンゴルフ。午後1時からは小学校校庭でのグラウンドゴルフでした。参加いただいたみなさまありがとうございました。

マウンテンゴルフにはみずいろ電力の及川代表も参加いただき、ガスコンロ（1台）とモバイルバッテリー（2台）、携帯カイロを贈呈いただきました。みずいろ電力さまは社是として地域貢献も詠われており、操業以来物心両面において地区に御寄進頂いております。誠にありがとうございます。

今後も各種企業さんの御協力も賜りながら、協働しての地域振興策も模索して行けたらいいなと思います。

（修復中の水車）



## 【12月行事予定】

◆公民館及び周辺清掃（3・4班当番で実施）

日程は調整の上お知らせします

◆現王様の腰掛石看板設置

年末消防特別警戒 15日

◆資源ごみ収集日 不燃ごみ収集日 28日

◆資源ごみ収集日 11月30日 27日



### 【1月行事予定】



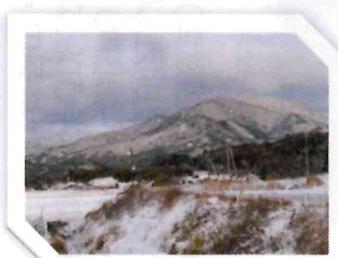
◆資源ごみ収集日 15日

日・ 31日

◆泳ぎ初め 1月4日

二十歳の集い 4日

消防出初め式 4日



## ふるさと回顧録

『泊野に生きて』 大阪府八尾市 久木野正志

第6章 泊野小学校時代（昭和32・4～38・3）

●田植え休み・・・5、6年生になり、先生から割り当てられた。広い田んぼがある家は行きにくかった。植えながら股下から覗くと畔が遠くて終わりがないから。

●鼓笛隊・・・4年生から6年生まで3年間を担当していただいた先生が指導。私はアコーデオンを女の子と一緒に担当した。難しかったがいい思い出になりました。

●ナッタヤツカラモディ・・・5～6年生の頃、授業終了したところで先生が問題用紙をみんなに配る。算数がほとんどだった。いつも一番出して帰る男子がいた。

●道草・・・帰りに市野の友達と「イシナガ」（石がゴロゴロしていた道）あたりを通り、ヤマモモの木に登りちぎって食べた。服が紫色になった。一方、自宅が校門正面直ぐで道草を知らない同級生もありました。可哀そうやら羨ましいやう。

●城山スズメ・・・MBCラジオ歌番組。午後3時～4時半じろ放送。子供には遊び終了の合図の時間。三波春夫、三橋美智也、村田英雄、春田八郎、美空ひばり、島倉千代子の時代。

●十文字・・・私は泊野銀座と思っている。南国バスの発着場所でありメインストリート。楠八重方向には消防車庫、農協の建物、南国バス車庫、楠八重商店（お酒類他全て・バスの切符など）、崎野商店（タバコ・塩など）診療所があった。また、宮田方面には散髪店、久木野商店（豆腐など）、平野商店（魚や肉の食品など）泊野林産など。泊野川が流れコランハシを抜けると泊野小学校正門、泊野郵便局。次号は 紫陽中学校時代（昭和38・4）